



(写真左上)
塩飽の行政の中心となった勤番所。今では、船方衆の活躍ぶりが展示されている。



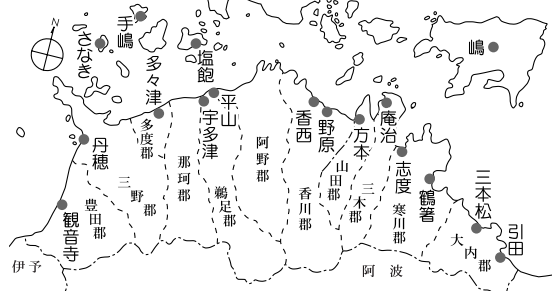
(写真右下)
このような北前船で米や塩などが運ばれていた。写真は、復元されて丸亀港に入港した「辰悦丸」。1986年5月撮影。

丸亀とウツノクニ

写真・文/石井 誠一

交通の発達③

海上輸送に 塩飽の人が活躍



「讃岐船の船籍地分布図」兵庫北関入船納帳(1445年)より

うだ。塩飽諸島付近は、瀬戸内海の東西から流入してきた潮流がぶつかり合い、潮が湧くことから「しわく」ともいわれ、複雑な潮流は操船技術を向上させた。

戦国時代の終わりごろには織田信長に従い、海上輸送の仕事に従事したり、毛利水軍と戦い手柄を立て、朱印状を与えられて特権を得たりした。信長の没後は豊臣秀吉に従い、四国・九州征伐にも活躍。秀吉から天正十八(一五九〇)年に塩飽諸島の土地(千二百五十石)が船方衆六百五十人に与えられた。秀吉の朝鮮出兵時には、三十二隻の船と六百五十人の水夫が

瀬戸内海は、都のある近畿と九州、朝鮮半島、中国大陸を結ぶ重要な動脈として古くから利用されてきた。島の多い海域では海賊も出没したよ

参加し、兵と食料を大量に運んだ。江戸時代、徳川家康からも水夫の技術・優秀さが認められ、大坂夏の陣への兵糧米の運搬など、幕府の御用船方として活躍した。

一方、東北の米の代表的産地である庄内平野の酒田港に集められた米を、北陸から山陰、関門海峡、瀬戸内海、紀伊半島、伊豆半島を回って江戸へ輸送する西回り航路が、寛文十二(一六七二)年に河村瑞賢(海運・治水に功労のあった伊勢の国出身の豪商)によって開発された。この航路には、備前の日比浦、摂津の伝法(大坂)、河辺(神戸)などの船とともに、讃岐の塩飽・直島の船も従事した。沿岸各地に寄港しながら二か月余りかけて危険を伴いながらも、大量輸送ができたおかげで多く利用された。東回りより距離は一・六倍あったが、丈夫な船と優れた水夫により輸送費が安く、年ごとに西回りを往復する船(北前船)が盛んになった。

こうして、塩飽諸島には数多くの船持衆が誕生した。

一方、東北の米の代表的産地である庄内平野の酒田港に集められた米を、北陸から山陰、関門海峡、瀬戸内海、紀伊半島、伊豆半島を回って江戸へ輸送する西回り航路が、寛文十二(一六七二)年に河村瑞賢(海運・治水に功労のあった伊勢の国出身の豪商)によって開発された。この航路には、備前の日比浦、摂津の伝法(大坂)、河辺(神戸)などの船とともに、讃岐の塩飽・直島の船も従事した。沿岸各地に寄港しながら二か月余りかけて危険を伴いながらも、大量輸送ができたおかげで多く利用された。東回りより距離は一・六倍あったが、丈夫な船と優れた水夫により輸送費が安く、年ごとに西回りを往復する船(北前船)が盛んになった。

こうして、塩飽諸島には数多くの船持衆が誕生した。

編集と発行 丸亀市役所総務部秘書広報課 〒763-8501 丸亀市大手町二丁目3番1号 ☎08800 ホームページ: http://www.city.marugame.tg.jp

丸亀市民への良質なサービスのために
丸亀市内の環境を守る事業所によって作られた協同組合です

丸亀シティーサービス協同組合

Marugame City Service Cooperative Association

ごみ処理や浄化槽清掃許可業者のご紹介は
TEL (0877) 22-6604
<http://www.comcitys.net>
丸亀市土器町東6丁目393番地

綾歌地区
一か所
一か所
開始

ベースキャンプは大人のための野遊びグッズや情報をお届けする、四国最大級のアウトドア専門店です。

アウトドアプロショップ ベースキャンプ

丸亀店 丸亀市飯野町東2-844-1 Tel.0877-24-6373	高松店 高松市多肥下町851 Tel.087-868-6373	ゆめタウン店 高松市三条町608-1 Tel.087-869-7560
---	---------------------------------------	---

<http://www.sikoku-basecamp.co.jp/>

広告掲載について詳しくは、市秘書広報課(☎08800)または市ホームページでご確認ください。

この広報紙は、四国新聞販売(株)に委託し、市内の全世帯(※一部地域を除く)に配布しています。配布のお問い合わせは、同社(☎0120-494459)までご連絡ください。
※城野コミュニティ地区は同センター(☎01012)、綾歌町富熊地区はNPO法人かがわサンサン倶楽部(☎03162)へお問い合わせください。